

尼崎版総合戦略（概要版）

昨年、国において急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、将来にわたって活力ある日本社会を維持するため、まち・ひと・しごと創生法が成立し、50年後に1億人程度の人口を維持することを目指した「長期ビジョン」と、今後5か年の施策の方向性を示す「総合戦略」が示されました。

本市はすでに人口減少、少子化・高齢化を見据えた「尼崎市総合計画」に沿って、まちづくりを進めてきており、国のまち・ひと・しごと創生に関する動きは本市の取組を促進するものと判断し、本市も総合計画を基に「まち・ひと・しごと」の分野に絞ったアクションプランとして尼崎版総合戦略（計画期間：平成27年度～31年度）を策定するものです。

3つの基本目標

- 持続可能なまちづくりに向けて -

(1) ファミリー世帯の定住・転入を促進する

近年、本市の社会減少は収束傾向にあるものの、就学前の子育て世代の転出超過が顕著であり、賑わいや経済活力の低下の面からも抑制が必要です。

子育て世代の転出要因に「治安やマナ-」、「環境」、「教育」といった本市の課題が凝縮しており、それら課題の解決に取り組むことが最重要と考えています。

【5年間の数値目標】

5歳未満の子どもがいる世帯の転出超過世帯数（382世帯 半減）等

(2) 経済の好循環と「しごと」の安定を目指す

出生数については今後、団塊ジュニア世代が40歳代に移行することから、大幅な減少が見込まれます。そのため、希望する人が安心して子どもを産み育てられるよう雇用や就労、子育て環境を安定させていくことが必要です。

【5年間の数値目標】

市の施策を活用して生み出した新たな雇用量（5年後に350人）等

(3) 超高齢社会における安心な暮らしを確保する

本市は、南部だけでなく、北部でも加速度的に高齢化が進行している上に、単身高齢者も増加しています。これから急速な勢いで増加する後期高齢者への対策が必要です。

【5年間の数値目標】

生きがいを持つ高齢者の割合（71% 75.9%）等

「ひと咲き まち咲き あまがさき」に向けて

- 本市の取組の方向 -

(1) 「ひと咲き まち咲き あまがさき」による地方創生

本市は将来の姿から見てくる課題に予防的観点で取り組んでいますが、そのためには、地域に根ざした活動として取り組み、地域との協働を深化させていく必要があります。

また、若い人たちが尼崎に触れ、課題解決の実践を通じて学びや経験、力をつけ、また地域で活かしていく機会を創っていくことが必要です。

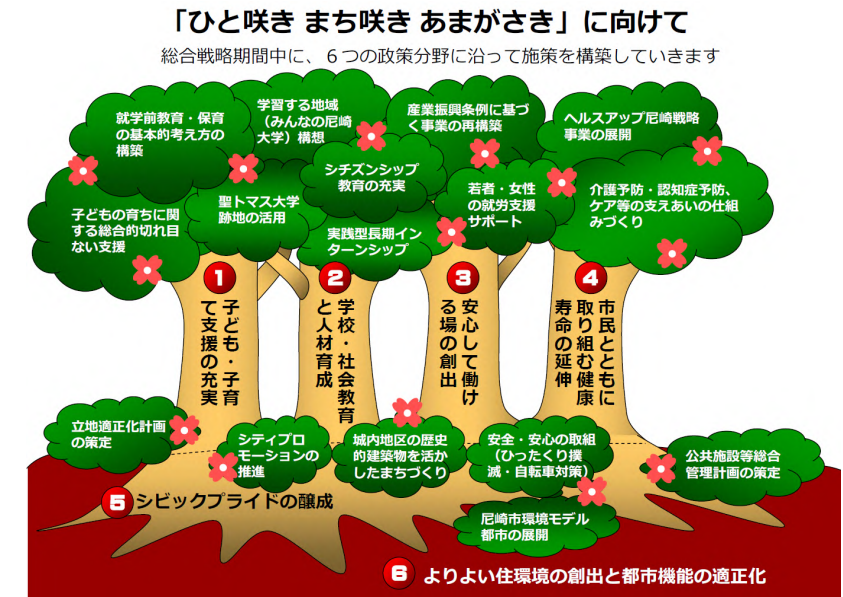
少子化・高齢化の進展に伴い、今後、都市部である本市においても地域の課題はより多様化し、複雑化すると考えられます。「課題解決先進都市」を目指す本市では、「地域において市民一人ひとりが学び、成長し、活躍し、まちに活気を生み出していく。そしてその営みを未来に引き継いでいく」という「ひと咲き まち咲き あまがさき」の考えのもと、尼崎の創生に向けた総合戦略を策定しました。

(2) 総合戦略において実現を目指す本市の新たな取組

総合計画の施行から2年が経過し、総合計画の取組に新たな展開を見せているものがあります。

これらは将来を見据えて取り組もうとしているものであり、本市が現時点で特に注力しているとともに、総合戦略における本市の独自性を示す取組です。（右図参照）

本市は今後、5年間、尼崎版総合戦略に則って着実に取組を進めていきます。



総合戦略政策パッケージ

- 今後5か年に取り組む6つの政策分野 -

総合戦略においては、3つの基本目標を達成するため、今後5か年の具体的な取り組みを「6つの政策分野」に分類し「総合戦略政策パッケージ」として示します。

【子ども・子育て支援の充実】 地域社会全体で、子どもを守り育てる環境づくりに向け、家庭、地域、学校の連携強化に取り組むとともに、子どもに視点をあいた総合的な支援を実施します。

【学校教育・社会教育と人材育成】 学力向上について教育環境の整備も含めて重点的に取り組むほか、子どもたちが職業観を持つ機会を提供します。また、自治意識の醸成を図り、市民参画等を推進するとともに、学びの場の提供や多様な主体が連携できる仕組みを構築します。

【安心して働ける場の創出】 本市の産業資産を活かした就労をサポートするとともに、女性やシニア世代が能力を發揮できる仕組みを整えていきます。また、産業施策については各機関との連携のもと、現行施策の検証や再構築を行います。

【市民とともに取り組む健康寿命の延伸】 予防的観点から健康に関する意識の高揚を図るほか、高齢者支援に関しては地域福祉や医療保険・年金など施策間の連携を強化しながら、自らが健康づくりに取り組む、また、地域で支える仕組みづくりを行います。

【シビックプライドの醸成】 本市の魅力ある地域資源の情報を発信し、体験した上で、「尼崎市に住んでみたい」と思う人を増やすとともに、「住み続けたい」と思える取組を実施します。

【よりよい住環境の創出と都市機能の最適化】 ファミリー世帯の定住・転入につながる、よりよい住環境の創出に向けた取組を推進します。また、「尼崎市公共施設マネジメント基本方針」など、都市施設や公共施設のマネジメント計画を立てていきます。

3つの基本目標と6つの政策分野の関係

